

マメグンバイナズナ (豆軍配齋)

名前の意味：実が小さいグンバイナズナという意味。軍配は、相撲の行事が持っている特別な扇で、グンバイナズナの実は、形がこれによく似ている。

分類：双子葉類、アブラナ科、マメグンバイナズナ属

(アブラナ科の栽培植物：アブラナ、ダイコン、ワサビ、カブ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：北米

特徴：切れ込んだ地面を円くおおう葉、白い小さな花、円盤状の実

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：4枚、離弁 (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：5—6月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：タネツケバナの果実は棒状なので、果実が軍配形のグンバイナズナと区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)